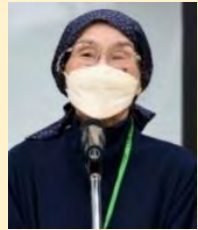


ウトロ平和祈念館おひさまプロジェクト報告書

2023年4月30日

ウトロ平和祈念館に
おひさま発電所が
できました！

～ウトロで作り ウトロで使う 自然エネルギーを～



いつもウトロ平和祈念館に多大なるご支援・ご協力をいただきましてありがとうございます。このたび、ウトロ平和祈念館に「おひさま発電所」が完成しました。もとよりウトロを応援して下さった方、そしてこのおひさま発電所プロジェクトをきっかけにウトロを知って下さった方、すべてのみなさまのおかげで、太陽光パネルと蓄電池を設置することができました。心より感謝申し上げます。

「ウトロに生きる、ウトロで出会う」という言葉のコンセプト通り、祈念館は様々な人々が出会い、ウトロを通してつながっていく場です。このおひさま発電所の設置をきっかけに、社会をよりよくしたいと思う人々がつながり、多様な視点を持ち合わせることで、もっと大きな広がりを作ることができると考えています。これからも共に、未来を作っていきますよ。

ウトロ平和祈念館 館長 田川 明子

ごあいさつ



ウトロ平和祈念館でのおひさま発電所の完成おめでとうございます。人権問題や平和構築に取り組んでこられているウトロ平和祈念館に、気候変動問題の解決につながる太陽光発電・蓄電池が設置されたことは、多くの人々の希望につながるものだと思います。

今回のおひさま発電所プロジェクトに多くの人が協力して下さったことで、人権や平和への関心が高いことを再認識いたしました。同館の一周年記念式典と同時に開催した点灯式に集まっていたみなさま、そしてこれから訪問して下さる人々にもつながり、発信され、さらなる連携の輪が広がっていくことが期待されます。

地域の資源を活用することができるおひさま発電所が拠点となって、多くの人々の連携によって平和や人権を守る活動が進んでいき、持続可能で素敵な脱炭素地域が創られていくことを祈念しています。

市民再エネプロジェクト in 京都(きょうとグリーンファンド 理事長) 田浦 健朗



おひさま発電所
ウトロが描く未来

ウトロ平和祈念館が描く未来と太陽光発電を付ける意義

今回のプロジェクトには、これからの未来に向けたたくさんの願いがあります。まずは、新しい出会いを作りたいということです。環境問題を中心に活動してきた人々、人権問題を中心に活動してきた人々、今まで出会いそうで出会っていなかった人達は、ウトロという場で出会い、互いを理解することで、社会により大きなうねりを創っていくことなのでしょう。

この新しい出会いは、環境問題やエネルギー、気候災害等の問題が、実は人権や差別の問題につながっていることに気づきかけとなるはず。過去からじわじわとつくり上げられてきた支配や差別、そして格差を広げる形で進んできた環境破壊と地球温暖化、その影響による自然災害、食糧難。エネルギーの奪い合いによって起きる戦争、そして戦争によって環境がさらに破壊されるという負のスパイラル。そうなった時、真っ先に被害を受けるのは、子どもや女性、障害を持った人や高齢者など、弱い立場にある人々や地域です。この負の連鎖を深く意識しつつ、少しでも温暖化に歯止めをかけ、エネルギーや日々のくらしの在り様を考える新しい出会いを作れば嬉しく思います。

今回のプロジェクトを通して、ウトロ平和祈念館とおひさま発電所には3つの共通点があると気がきました。1つ目は、みんなで協力してできたものであるということ、2つ目は、みんなの場所・設備であること、そして3つ目は、未来につながる学習の場であることです。これらは全て、地域を拠点にしてよりよい社会・未来を作るために、必要な要素ではないでしょうか。このプロジェクトがそのきっかけとなるよう、願ってやみません。



点灯式！

挨拶



ウトロ平和祈念館館長の田川明子さん、ウトロ民間基金財団の郭辰雄さん、そして市民再エネプロジェクト in 京都の田浦健朗さんより1周年のお祝いと、おひさま発電所ができるにあたっての未来への期待を述べていただきました。

点灯！



「3、2、1、点灯！」室内のミラーボールが光り、玄関の自動ドアが開いて、発電所の看板が現れました！



発電所看板

看板の板は、市民再エネプロジェクト in 京都からプレゼント。メンバーの一人、川手光春さん(京都府地球温暖化防止活動推進センター)から、看板に込められた思いや、木が持つ二酸化炭素を固定する役割についてお話しいただきました。

太陽光発電蓄電設備見学



点灯式の後には、再エネ工場の林敏秋さんより、太陽光発電・蓄電設備の説明をしていただきました。ウトロ平和祈念館のおひさま発電所は、ソーラーパネルを間近で見られるのがポイントです！

ミニ学習会



おひさま発電所 ~トークセッション~

市民再エネプロジェクト in 京都としては初の試みとなった座談会形式の学習会。次世代を担う人々が参加して、語り合いました。

午後からはトークセッションを開始。まずは、気候ネットワークの延藤さんから気候変動の基本についてお話いただき、温暖化の原因や影響について、再エネや我慢をしない省エネについても報告がありました。また、ウトロ平和祈念館の安より、気候変動が実は人権問題にもつながっており、世界には世代間や地域間の不公平がある、そして未だに植民地主義的な構造が残っていて、このことを自覚して行動すべきことを提案しました。その後、京都で活動する学生団体 Fridays For Future Kyoto のメンバーなども加わって、座談会形式でウトロと環境問題について考えました。ウトロ平和祈念館が地域を主軸に活動してきたのと同様に、環境問題の解決も地域という切り口から考えることが重要だと再確認しました。

お披露目！
ついに

発電所作りスタート！

寄付募集チラシ

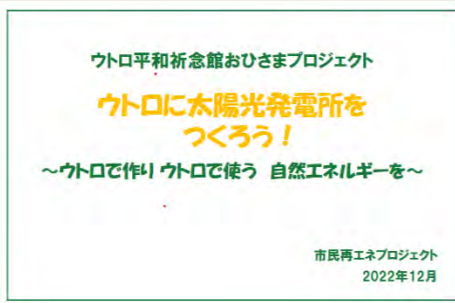


ウトロ平和祈念館 おひさま発電所 計画始動！



ウトロ平和祈念館のオープンから3か月弱。運営体制もままならない状況でしたが、地球温暖化は待つてはけません。市民再エネプロジェクト in 京都の協力を得て、いよいよ「ウトロ平和祈念館おひさまプロジェクト」が始まりました。

スタッフ・ボランティア説明会



ウトロ平和祈念館に関わるスタッフやボランティアさんを対象に、おひさま発電所に関する説明会を行いました。なぜウトロにおひさま発電所を設置するのか、どうすれば地域に根付いた施設になれるのか等を考えました。

設置工事



祈念館の屋上に、約10kW規模の太陽光発電設備を設置しました。祈念館見学の皆さんにも見ていただける絶好の場所です。

発電所ができるまで

多くの人に「ウトロ平和祈念館」と「おひさまプロジェクト」を知ってもらうため、オンライン寄付サイト Giveone でも寄付を募りました。

学習会で
ウトロと環境
問題を考える

●この事業は、一般財団法人ウトロ民間基金財団と市民再エネプロジェクト in 京都が協力して、宇治市にあるウトロ平和祈念館に、市民共同で太陽光発電設備、蓄電設備、EMS を設置したものです。費用は、市民からの寄付、市民再エネプロジェクト基金、一般財団法人ウトロ民間基金財団の資金等でまかないました。

設置後は、ウトロ平和祈念館が環境に配慮した施設となるよう、市民再エネプロジェクト in 京都も協力して環境学習を進めていきます。

●後援：京都府、宇治市、特定非営利活動法人 KES 環境機構、ウトロ町内会、コリア NGO センター、ウトロを守る会

●協力：認定 NPO 法人環境市民、有限会社ひのでやエコライフ研究所、Fridays For Future Kyoto、太陽ガスグループ・Happy Energy

●設置設備：太陽光発電システム 9.31kW(ハンファQセルズジャパン製)
蓄電システム 14.08kWh(ダイヤゼブラ電機製)

●発電所データ：

設置場所：ウトロ平和祈念館	総事業費：約 593万円
設置日：2023 年 1 月 18 日	寄付額：ゆうちよ払込みによる寄付 2,039,000 円(291件)
年間予想発電量：11,418kWh/年	オンライン寄付サイト Giveone を通じての寄付 340,000円(37 件)
	寄付募集期間：2022 年 11 月 1 日～2023 年 5 月 31 日

◆ウトロ平和祈念館

2022 年 4 月にオープンしたウトロ平和祈念館は、日本と朝鮮半島、在日コリアンの歴史、そしてさまざまな困難を乗り越えともに歩んできた日韓市民の思いを伝えて未来へとつないでいくための祈念館です。

さらに、ウトロ住民をはじめ地域の人々に開かれたコミュニティの拠点として、また地域を超えて日本と朝鮮半島の未来を担う人たちの出会いと交流が深まる場としても役割を担っていきたいと考えています。

ウトロは戦争の時代に形づくられた、日本社会から「置き去りにされた」朝鮮人のまちでした。戦争から生まれたウトロという地域を守り抜いた人々の姿を通じて、人権と平和の大切さ、共に生きることを意味を伝えていける場所になることを切に願っております。

◆市民再エネプロジェクト in 京都

温暖化を防止するさまざまな活動を続けてきた団体が、市民共同発電所をさらに広げようと立ち上げたプロジェクトです。この度、2050 年カーボンニュートラルに向けて、再生可能エネルギーを、今まで以上に普及させるとともに、大規模災害に備えて、地域の公共的な施設への設置を最優先して進めるために連携して取り組むことにしました。

寄付集めや助成金のノウハウ、太陽光発電の設置経験や知識を持つ非営利団体が集まったプロジェクトです。皆様の太陽光発電設備設置をサポートします。

参加団体：NPO 法人京都地球温暖化防止府民会議、認定 NPO 法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO 法人エコネット近畿、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド

◆おひさまでんきプロジェクト～あなたの電気代からおひさま発電所がうまれます！

「必要なエネルギーは、太陽光や風力などの再生可能エネルギー(再エネ)で100%まかなう社会をめざそう」という思いから、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドと太陽ガスグループ(新電力会社)がはじめた共同プロジェクトです。太陽ガス(関西地区代理店 Happy Energy)に毎月支払う電気代の一部が、おひさま発電所設置のために還元される仕組みです。再エネ100%をめざす電力会社から電気を買うことで、さらにおひさま発電所を増やしていきましょう！このプロジェクトは、「おひさまでんきプロジェクト」のひとつとして、太陽ガスグループが応援しました。

◇ウトロ平和祈念館

〒611-0043 京都府宇治市伊勢田町ウトロ 51-43
TEL：0774-26-9222
FAX：0774-41-7276
URL：<http://www.utoro.jp>
E-mail：info@utoro.jp

◇市民再エネプロジェクト in 京都

(事務局：認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド)
〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町 21 番地
事務機のウエダビル 206
TEL/FAX：075-352-9150
URL：<http://www.kyoto-gf.org/>
E-mail：info@kyoto-gf.org



この印刷物は、自然エネルギー
(太陽光)を活用して印刷しました。